

## 水資源の利用に関する方針

当社は、WRI（World Resource Institute）の Aqueduct 調査における水ストレスの高い地域での事業は行っていないが、水資源の保全と効率的な利用は、環境への負の影響を抑えるとともに、水質汚濁防止法など排水関連の規制や地域ごとの条例への対応、そしてランニングコストの削減にもつながる取り組みと認識しています。この認識に基づき、当社は保有する物件の水使用について適切に把握・管理し、各種節水施策の実施を通じて、水資源の持続可能な利用に取り組んでいきます。

### 1. 目標

水使用量原単位（ $\text{m}^3/\text{m}^2$ ）を前年度より低減する。

### 2. 取り組み

#### (1) 節水機器の導入

トイレなど水回りの設備の更新を順次進めており、快適性向上と合わせて、保有物件の水使用量削減に取り組んでいます。



京阪神 瓦町ビル 節水型トイレ

#### (2) 雨水の浸透と地下水の保全

ビルの外構部や歩道、駐車場などに透水性舗装などを採用し、雨水を地下に浸透させることで、雨水が一度に河川や海洋に流出することを防ぎ、地下水の保全に努めています。

(3) 水ストレス

当社は、WRI の水ストレス評価ツールである Aqueduct において、high 以上の地域で事業を行っておりません。

## 廃棄物削減方針

当社は、当社が保有・管理する物件から発生する廃棄物の排出削減や、有害廃棄物の発生抑制・管理は、土壌や水資源、働く人や地域住民の健康と安全を守る重要な課題であり、企業としての社会的責任を果たし、ステークホルダーと良好な関係を保つために必要不可欠であると認識しています。当社は、これら廃棄物について適切に把握・管理するとともに、各種施策の実施を通じて廃棄物の削減に取り組み、循環型社会の実現に貢献していきます。

### 1. 目標

廃棄物排出量原単位（kg/m<sup>2</sup>）を前年度より低減する。

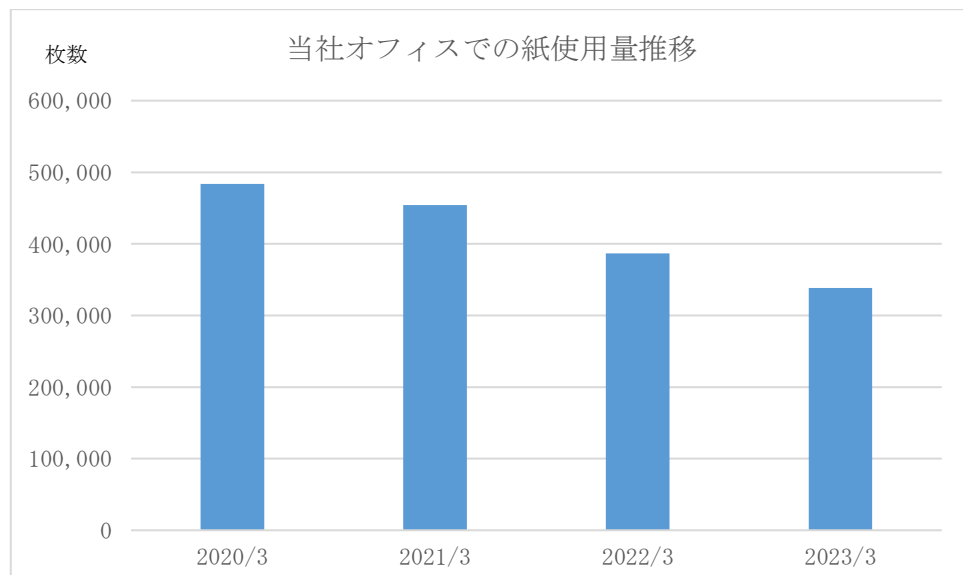
### 2. 取り組み

#### (1)お客さまとともに取り組むゴミの削減・リサイクル

清掃業務を担うパートナー企業と連携してゴミの分別・リサイクルを呼びかけ、お客さまの協力のもと、テナントフロア内に分別ボックスを設置し、お客さまとともにゴミの削減、リサイクルに取り組んでいます。

#### (2)当社オフィスでの紙使用量の削減

業務の電子化、ペーパーレス化を進め、当社オフィスで使用する紙の量の削減に取り組んでいます。



### (3) 長寿命・高耐久化の取り組み

当社は長寿命・高耐久素材の採用や、「予防保全」という考えのもと、建物を適切に管理・修繕することで、建物の長寿命化を図り、限りある資源の節約と廃棄物の排出抑制に努めています。当社が本社を構える瓦町ビルのような築年数の経過したビルも、内装や設備、躯体等に手を加え、ビルとしての利便性・快適性を向上させることで、長くテナントさまにご利用いただいています。



京阪神 瓦町ビル 1F ロビー

### (4) 有害廃棄物の適切な処理

アスベスト、PCB、フロン等の有害廃棄物については、関連法規に則り適切な調査・処理を行っています。

以上